

無限恒久永遠推し!!



完璧で究極のアイドル激似の女の子とエッチな擬似体験!

あの有名アイドルグループ〇小町で一番人気の星〇ルビーがまさかのAVデビュー!?

あまりにもそっくりすぎて、街中を歩けば誰もが振り返るほど。そんなアイドル激似の今ドキ少女は、エッチなことが大好き。本物では見ることのできないあんなところやこんなところを見せちゃいます。

そしてさらに、ウィッグを被れば〇小町伝説のあのアイドルにもそっくり! 一粒で二度と美味しい。そんな完璧で究極のAVをぜひともご覧あれ☆

GS  
glam sight



本中

スクープ!?! あの有名アイドル超激似の美少女がAVデビュー!?!

105 minutes

税込価格 ¥800

OSHI-04

スクープ!?! あの有名アイドル超激似の美少女がAVデビュー!?!

偽物? それとも本物? 嘘はとびきりの愛(エロス)なんだよ



星ルビー  
チョウゲキニ

CONTENTS

- ① マイクロピキニでインタビュー
- ② マイクロピキニで手コキ
- ③ マイクロピキニでシックスナイン
- ④ マイクロピキニで後背位中だし
- ⑤ 裸で騎乗位中だし&くぼあ
- ⑥ ウィッグ+ハイレグレオタード+ニーハイ
- ⑦ 電マ責め
- ⑧ 4P中出し孕ませSEX

「んっ、はあ……気持ち、いいかも☆」

GS  
glam sight  
企画制作 グラムサイト  
https://www.glamsight.jp/  
JPEG PDF COLOR 2400x1800px  
OS-004 105min 800YEN



●このCG集は18歳未満への販売・貸し出しを禁じます。  
●このCG集の無断複製、及びネット上へのUPは禁止します。  
●この作品には18歳未満の人物は出演していません。

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の購入・閲覧禁止



スクープ!!あの有名アイドル  
超激似の美少女がAVデビュー!!

えー、今回はあの有名アイドル  
星野ルビーのそっくりさんだ  
来てもらったんですが……。

「そんなに似てますかね？」

アハハ





おはっ

「年齢はルビーちゃんより歳上ですけどね」

「いや、や、や、似てるどころか激似でしょ。めっちゃ可愛いらんだけど。」

A blonde anime-style girl with long hair and pink eyes is shown from the waist up, wearing a pink bikini. She has a slight smile and is looking towards the viewer. A hand is placed on her right hip. The background is a plain light grey.

まあ、おかげでAVとEロケもいろいろ  
いじりができたわけですが(笑)

「そうですね。エッチ大好きです♡」



ちなみだ、演技は得意な方？

「そうですね。昔某劇団に所属してた  
ことあるんで割と。  
同世代に本物がいたんで挫折しましたけど」

なるほど。どういふ意味、今回お  
星野ルビーとやらおっつておっつて  
撮影したいと思ひます。

「はい、頑張ります☆」



「あは、すごい。  
まだ何もしてないのに、  
おちんちんおっきくなってる」

「そりゃあ、ルビーちゃんのようなそんなエッチな  
格好みたら大きくしちゃうよ」

あはっ

ん





「えー、じゃあちよつとサービスしちやおうかな☆  
ムンムンムンムンムン、ムンムンムンムンムン」

「ぶぐう、ルビーちゃんのおでて、超気持ちいい」





「うっ、うっ……ああ！」

「はぁ……」

「はぁはぁ」

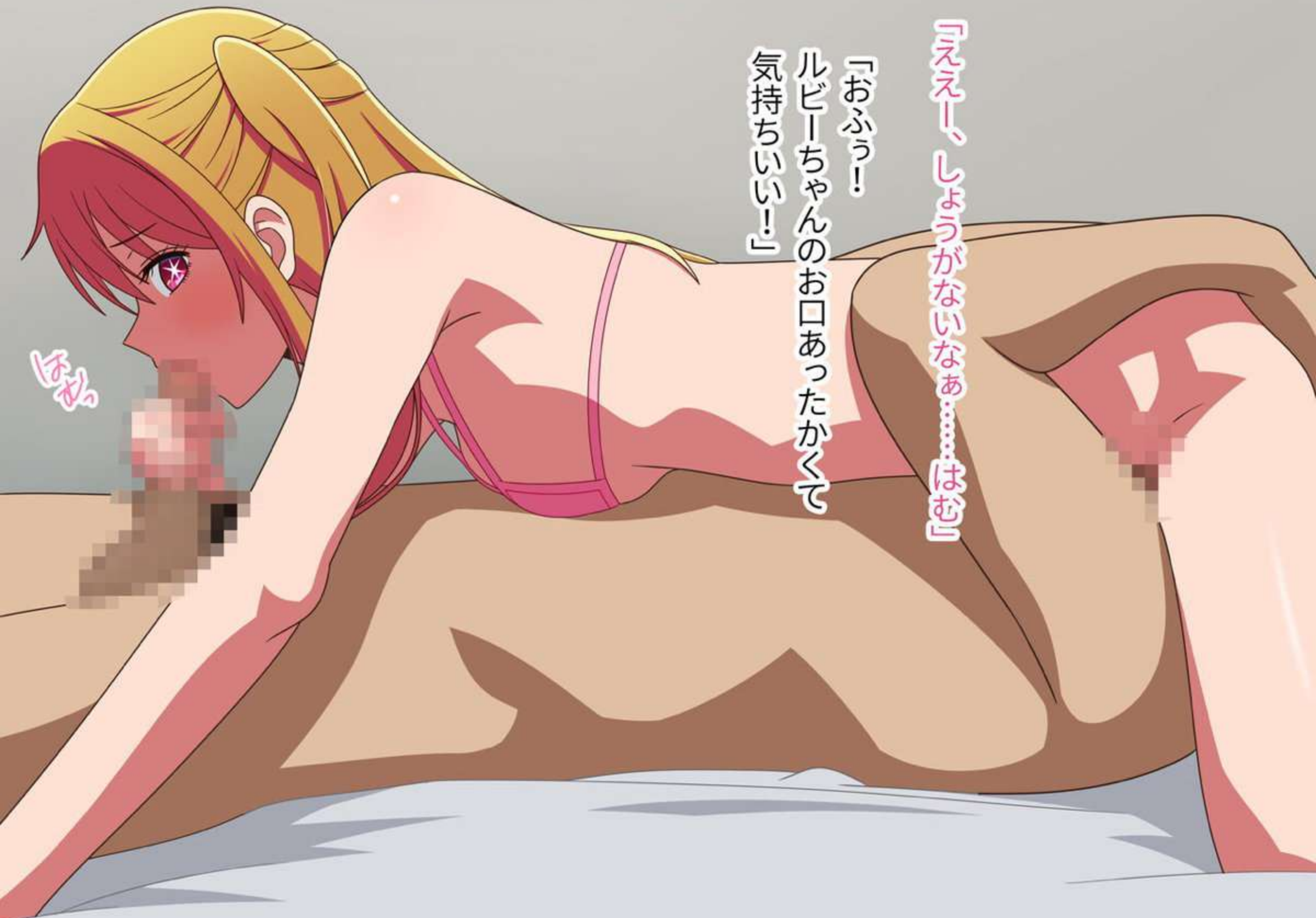


「あはは、すごい。  
めっちゃ飛んでるんだけど！」

「はあ、はあ……ルビーちゃん、  
よ、よに乗って舐めて」

ん、ん





「ええー、しょうがないなあ……はむ」

「おふぅー！  
ルビーちゃんのお口あったかくて  
気持ちいい！」

ほむ

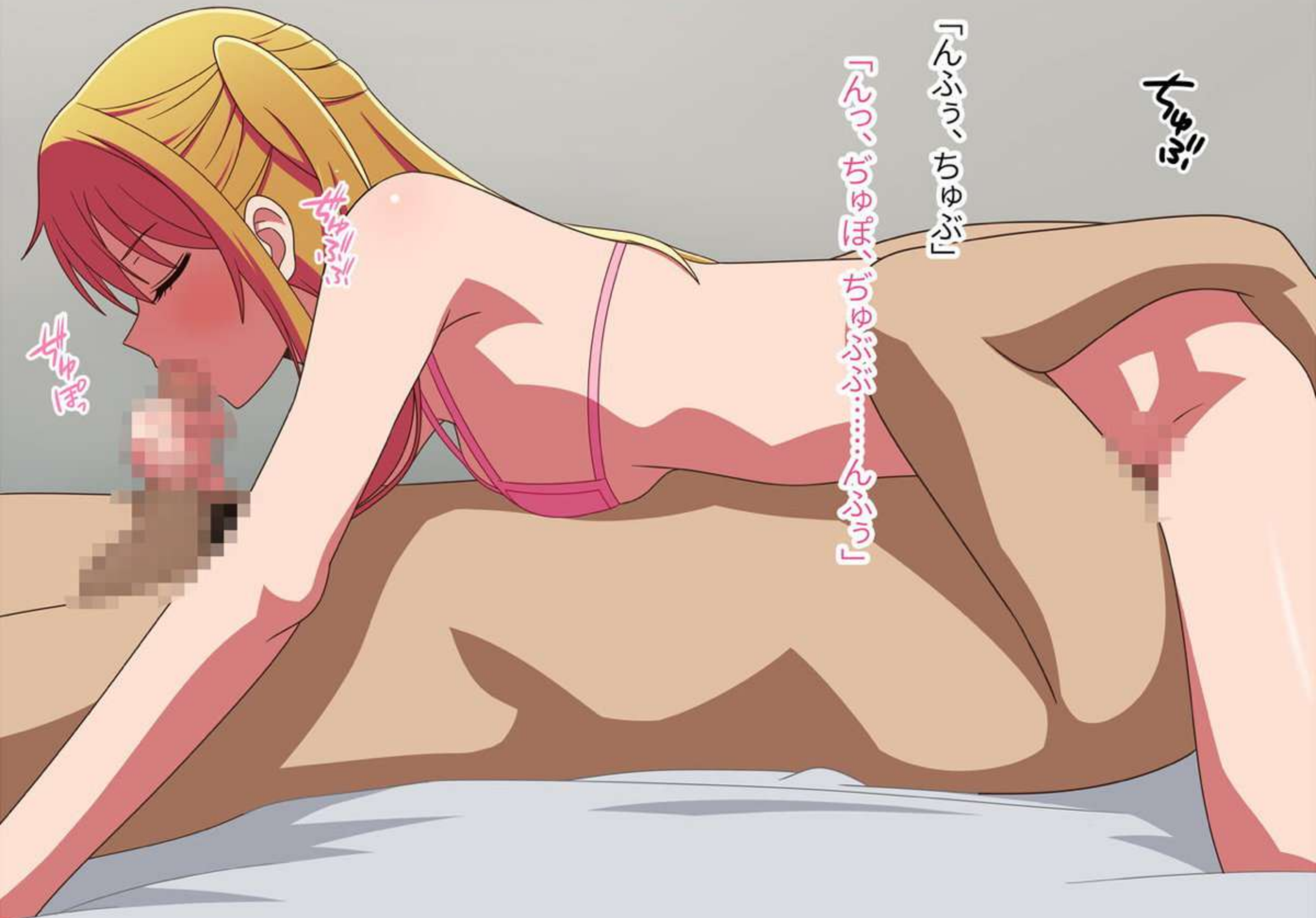


「んちゅ、ちゅぶ……んん」

「はあ、はあ……ルビーちゃんの  
おまんこが目の前に……」

ちゅぶ  
ちゅぶ  
ちゅぶ

んちゅ



ちゅぽ!!

「んんん、ちゅぽ」

「んんん、ちゅぽ、ちゅぽ……んんん」

ちゅぽ!!

ちゅぽ!!



ちゅんちゅん

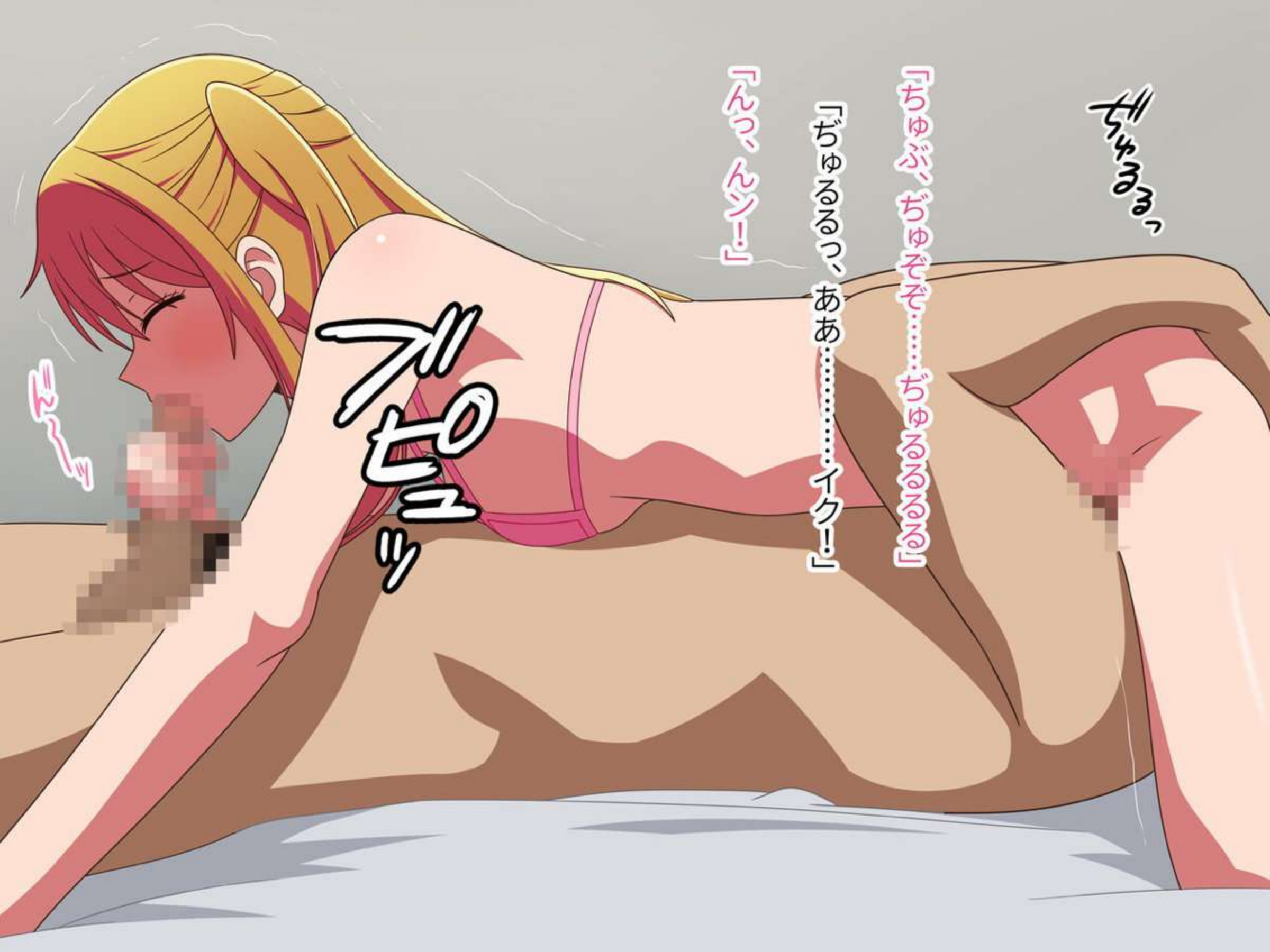
「ちゅんちゅん、ちゅんちゅん……ちゅんちゅんちゅんちゅん」

「ちゅんちゅん、ああ……ちゅんちゅん……イクー！」

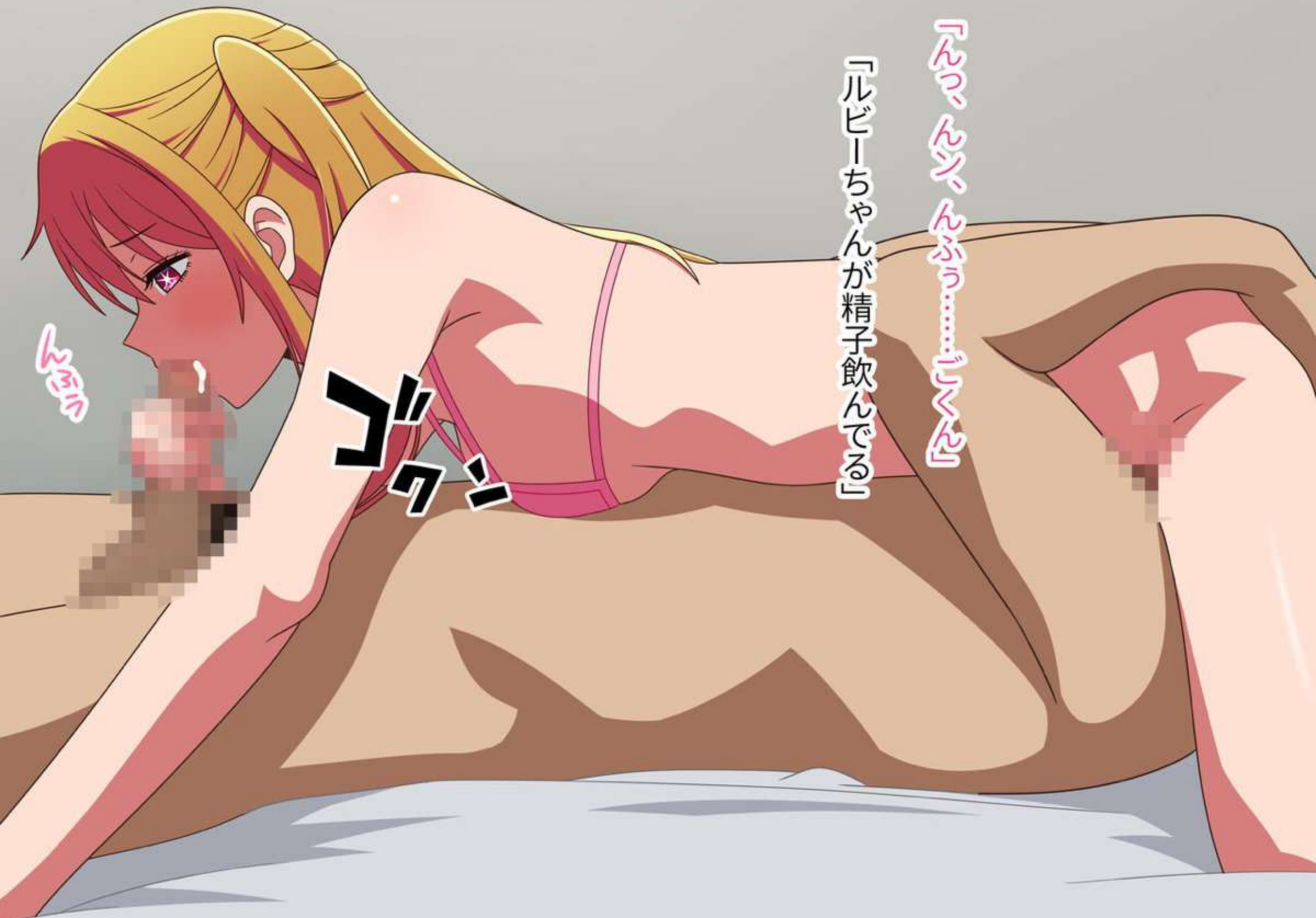
「ちゅんちゅん……」

グ  
グ  
グ  
グ  
グ

ちゅんちゅん







んんん

ゴクゴク

「んっ、んん、んふう……いっくん」  
「ルビーちゃんが精子飲んでる」



「やべー、もう堪んねー!!」

「ひゃん!!」

やべー  
ひゃん!!



「あっ、あっ、おまんこの奥、  
子宮口におちんちん当たって……  
気持ちいい♡」

「ああ、ダメだ。もうイク！  
ルビー、中に出すぞー！」

「きてえ、おまんこの奥に  
赤ちゃん汁いっぱい出してえ！」

パン

パン

パン



「イク！」

「あはああああ……んん！」

イク  
ン  
ン

「……」

「いっぱいビュルビュルッて出てる。  
あはは、気持ちよかった？」

「最高だったよ、ルビーちゃん」

「そっか。それじゃあ……」

んんん



「お、おっつ〜」

「まだまだできるよね?」

✂ ✂ ✂



「んっ♡ん♡」

「ルビーちゃん、激し……ああっ」

あ





「んふう、おちんちん気持ちいい♡  
おちんちん好き♡」

「あっ、ちよっ、ルビーちゃん  
「やば、やば、やば」



あんな

アッ  
アッ  
アッ

「…うん」

「はあん♡」

「おまんこの奥にビューツて出てるっ」

「くはあ、搾り取られる……」



「えへへ、気持ちよかった、かな？」  
「さ、最高でした……」



「……………」  
それじゃあ改めて。  
ルビーちゃん、イキんでみようか」

「はーん」

「

お  
ち  
ん  
こ





「えへへ、こんなに奥に出されたら、  
本気で妊娠しちゃってるかも」

「そうだね。そうならたら、  
腹ボテ撮影しちゃおうね」

フ  
フ

フ  
フ  
フ



「えー、いいけどお(笑)」

「それじゃあちよつと休憩挟んだら、  
次の衣装に着替えてもらおうか」

「ほっ」





「えー、ちよつと高めのウィッグを  
つけてもらったわけですが。  
これは……すいっい」

「じゃじゃーん、B小町のアイです☆」





あはっ

「そうかな？」

「いやあ、似てるかもとは思ったけど、  
これはマジです！う。生き写しじゃな」



ん  
ん

「あはは☆」

「だからちよっと感動」

「そうなの？」

「いやあ、俺現役ではルビーちゃん推し  
だけど、元々アイのファンだったんだよね」



「堪らないー!」

「堪らない?」

「しかもこんな際どいハイレグ姿とか」



Hiiiiw

ス

「どうしてだよ、ちょっとイメージビデオっぽく。  
電マで責めちゃうからっしょー」

「うわー」



「んっ……♡」

「まずは軽く」

あっ

ド  
ド

ド

ド  
ド



「気持ちいい?」

「んっ、はあ……気持ち、いい、かも☆」

「ちょっと濡れてきたと」」るで……」



アハハ

ズク

ダダ

ダダ

ダダ

アハハ

「強モード」

「あっ、あっ……ダメ、

イクら……ん……ん」



「おまんこ、濡れちゃったね」  
「はあ、はあ……ん……ん♡  
ういよ………するん〜」





「うっ、アイちゃん！」

「あは、これすーじーい」

アハ

ズン



「おちんちんに下から突かれてるのに、左右にもおちんちんがあるし☆」

「憧れのあのアイとセックスできるなんて」

「羨ましい。早く次変わってくださいよ」

「そうですよ、ルビーちゃんとも散々したのに」

ピュン

ピュン

ピュン



「わかってるって。あー、気持ちいい」

「んん……気持ち良くて、  
子宮が降りてきちゃう」

んん

んん

んん



「あっ、あっ、ああ………イク、イクよ！  
本日二度目の中出しー！」

「俺ももう………」

「ああ、きてえ、ザーメンで  
身体の中も外もいっぱいにしてえ♡」

「「イク………ううー」「」

あんん

ズ  
イ



「あはあ、すごいーい。  
熱くて、すごい臭い♡」

「マジでヒロすぎるだろ」

「おまんこまだ締め付けてくる」

セッ  
ション

ドク  
ドク





アッ  
ッ

アッ

アッ

「はあ、はあ……」

「次は俺がアイとセックス  
したいです！」

「いや、俺だろ！」

ムッ



ん

『……………』

「あっ、監督のサークスエロっ。  
すっげーHロス」

『……………っ』

んんん

ポタッ

「……………やっぱお前らは  
また今度な。今回は俺の子を  
確実に孕ませるんで」

「「そんなあー！」」

「えへへ、ルビィちゃん似の  
赤ちゃん、デキるかなあ？」



「みやえもーん、」

「こんなのが出てるんですけどー！」

「まあ、しょうがないわね。」

「そっくりというだけでは規制しょうがないし、  
これも有名税だと思っしかないわ」



「そんなあ。」

「……ていうが、私だけでなく  
ママまで汚してるのが嫌！」

「……そのAVなら  
もうすぐ廃盤になるぞ」

「アクア!?!」





「そっち方面にも顔がきく  
業界の人に頼んで、裏から  
手を回してくれるよう  
頼んどいたから」

「お兄ちゃん♡」

「あんたって子は、  
本当に恐ろしいわね」



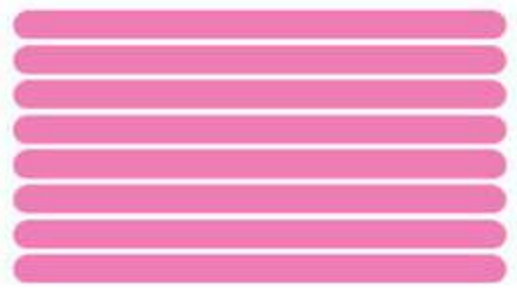


「ちなみにこのCG集作ってる時に  
タイミングよく原作でもウィッグ  
被ってて、タイムリーだと作者が  
思ったらしいヨ」

「その情報いるか!?!」



CONTENTS



















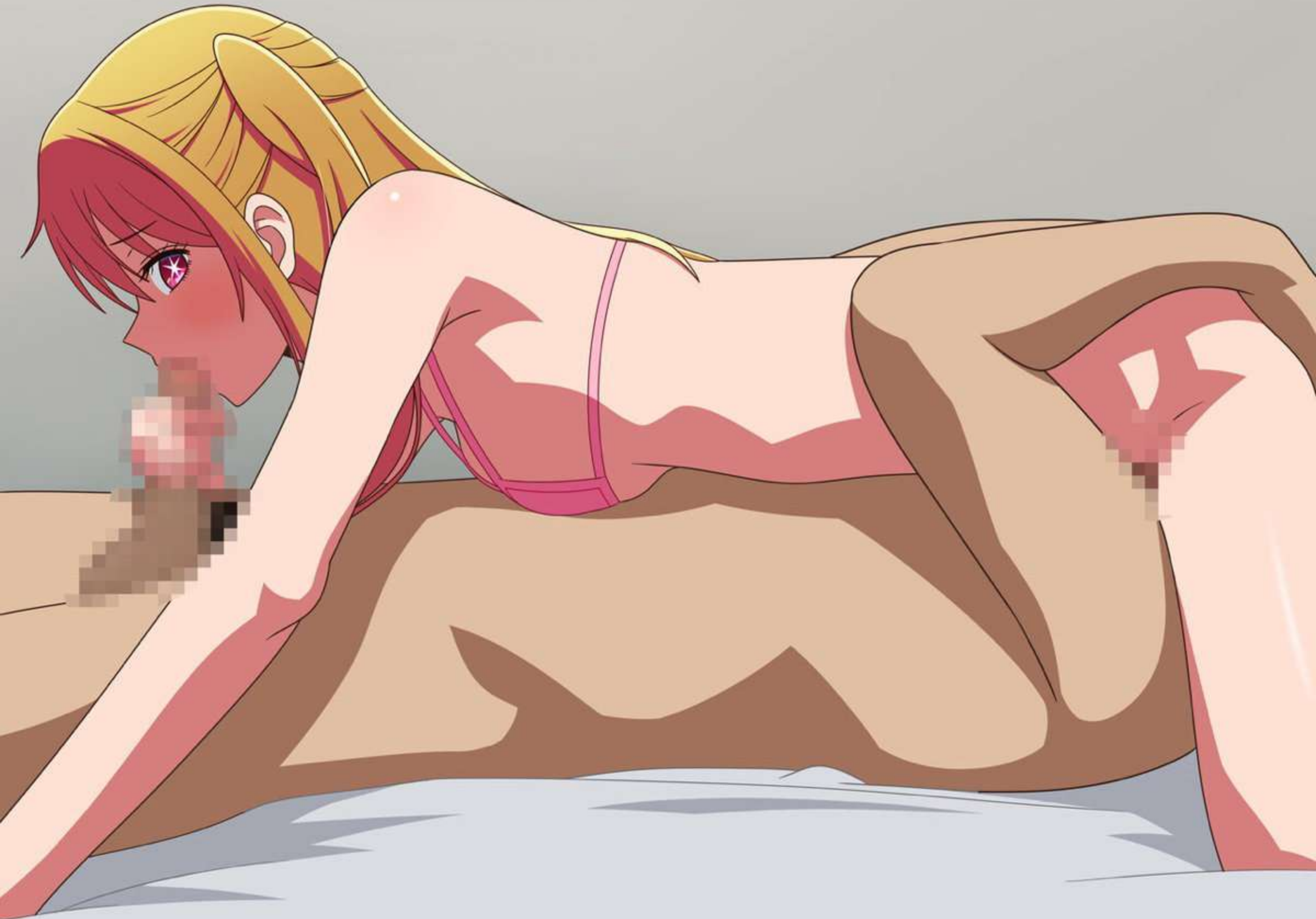


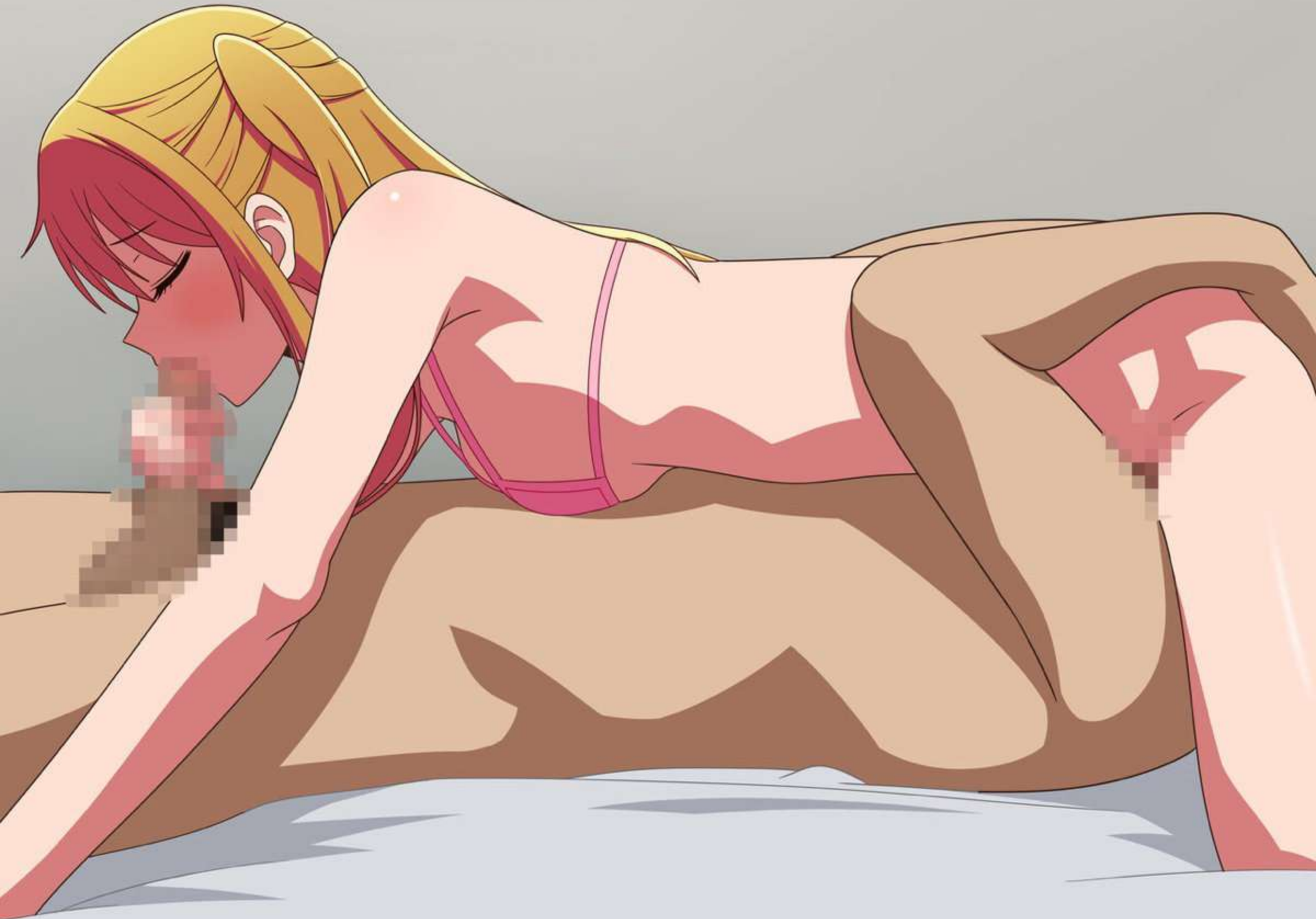


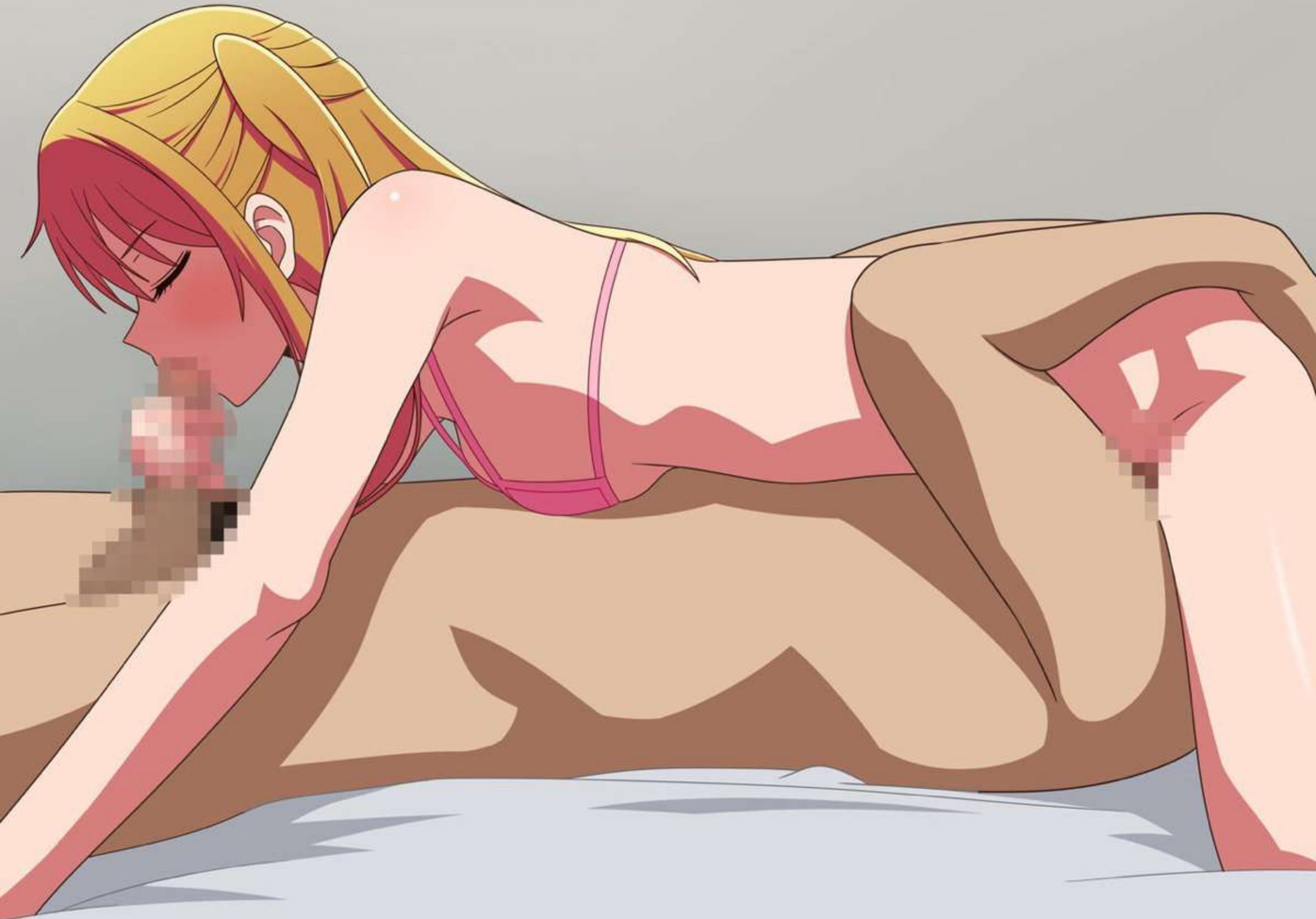


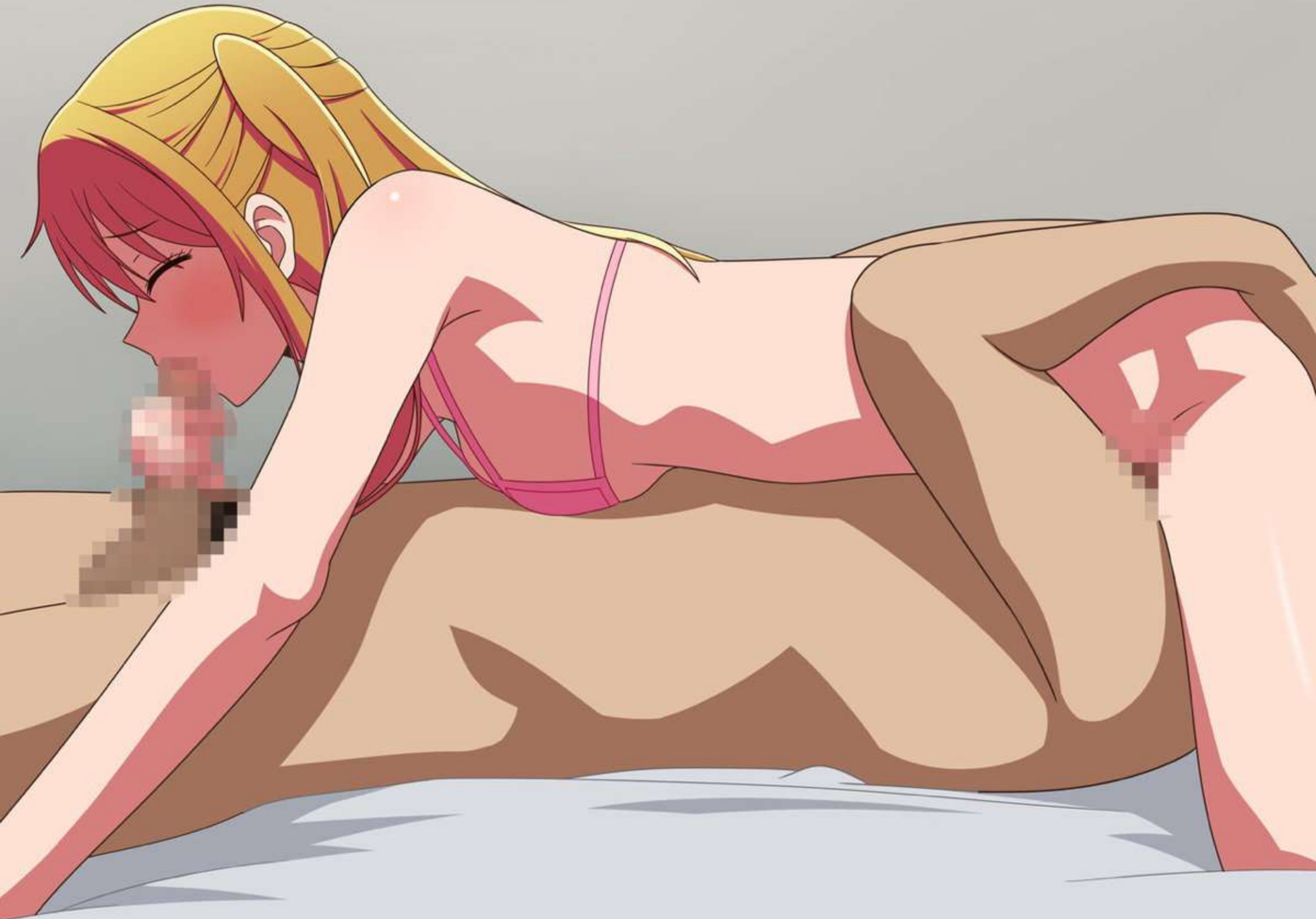


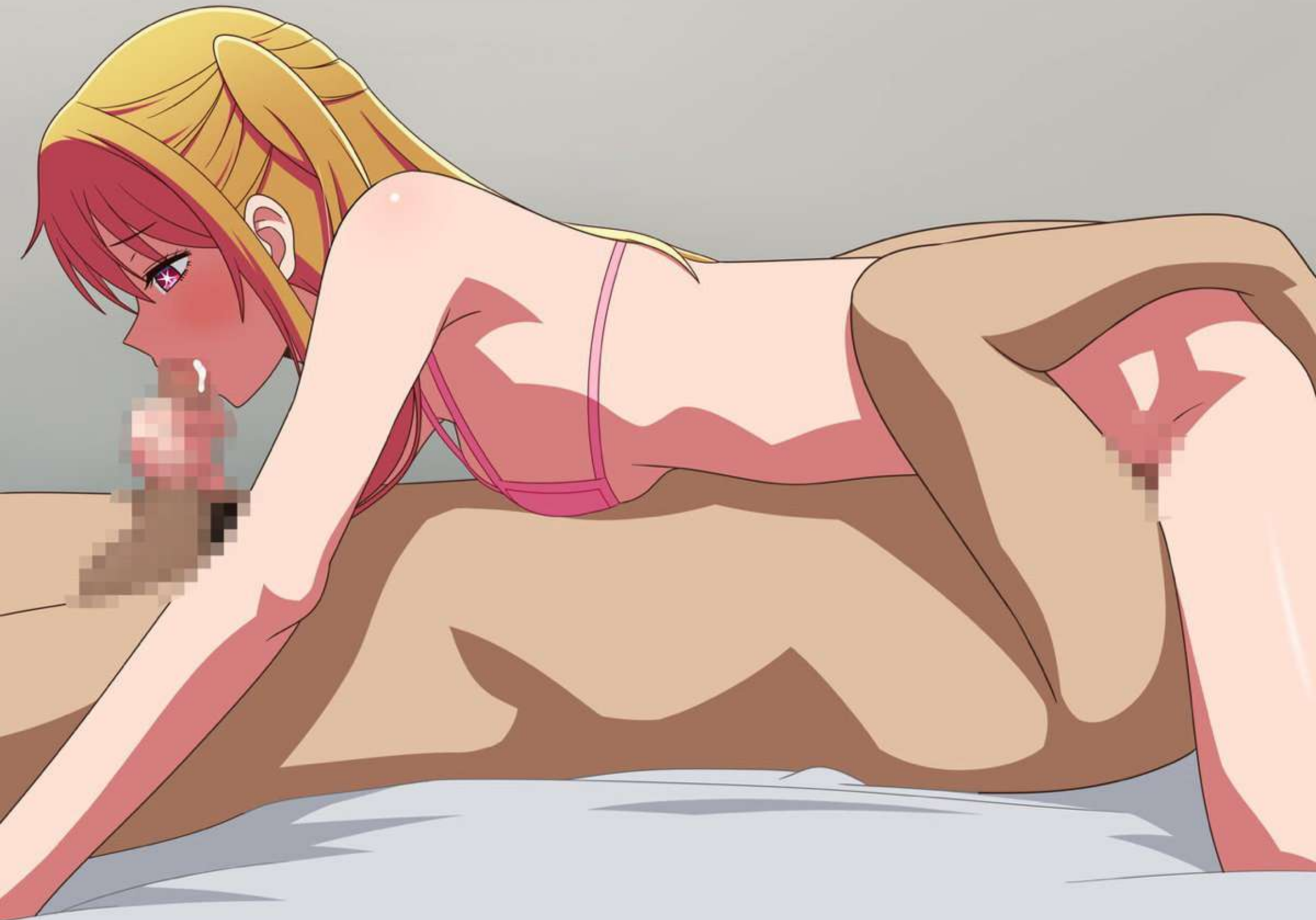










































































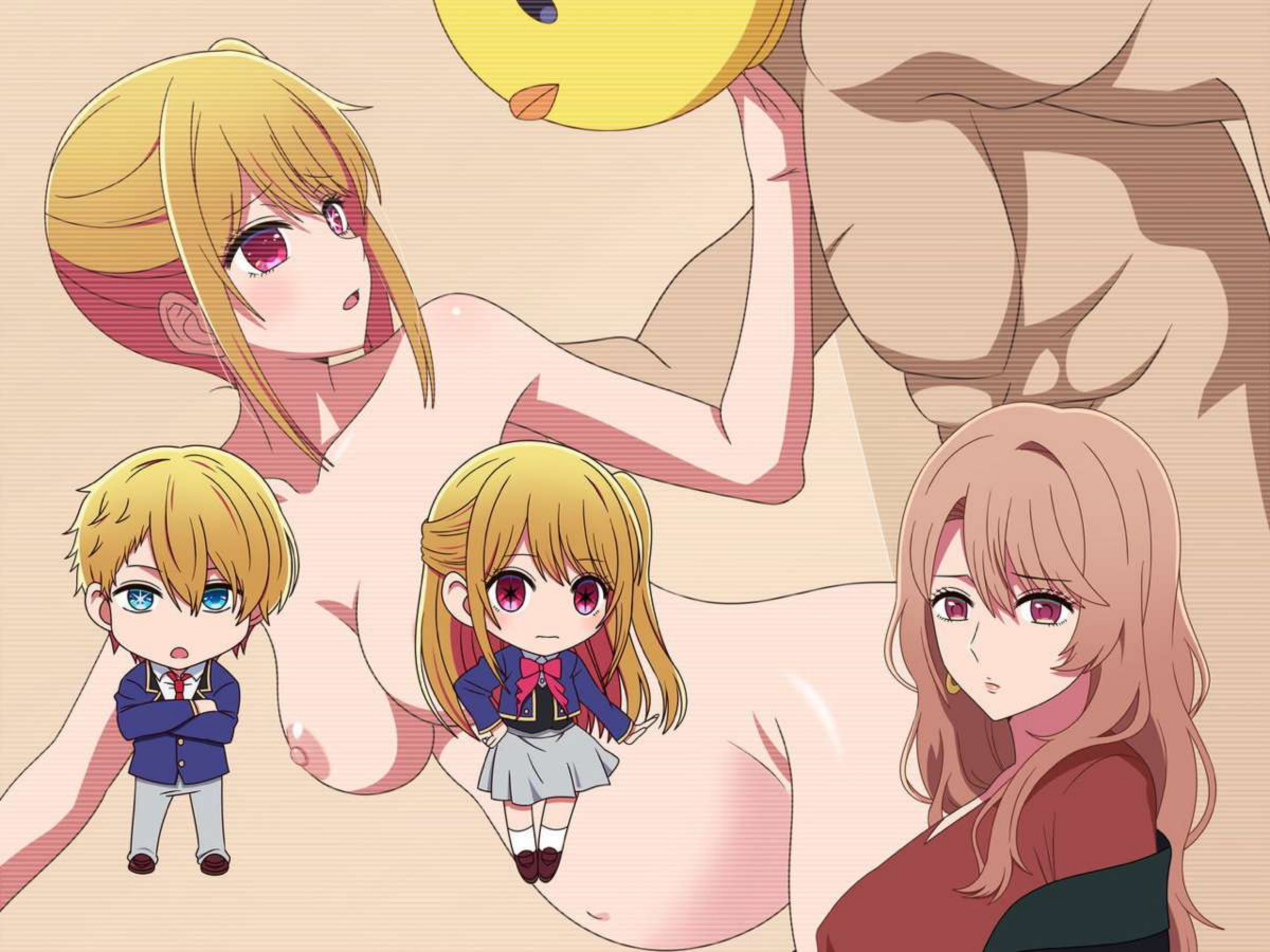


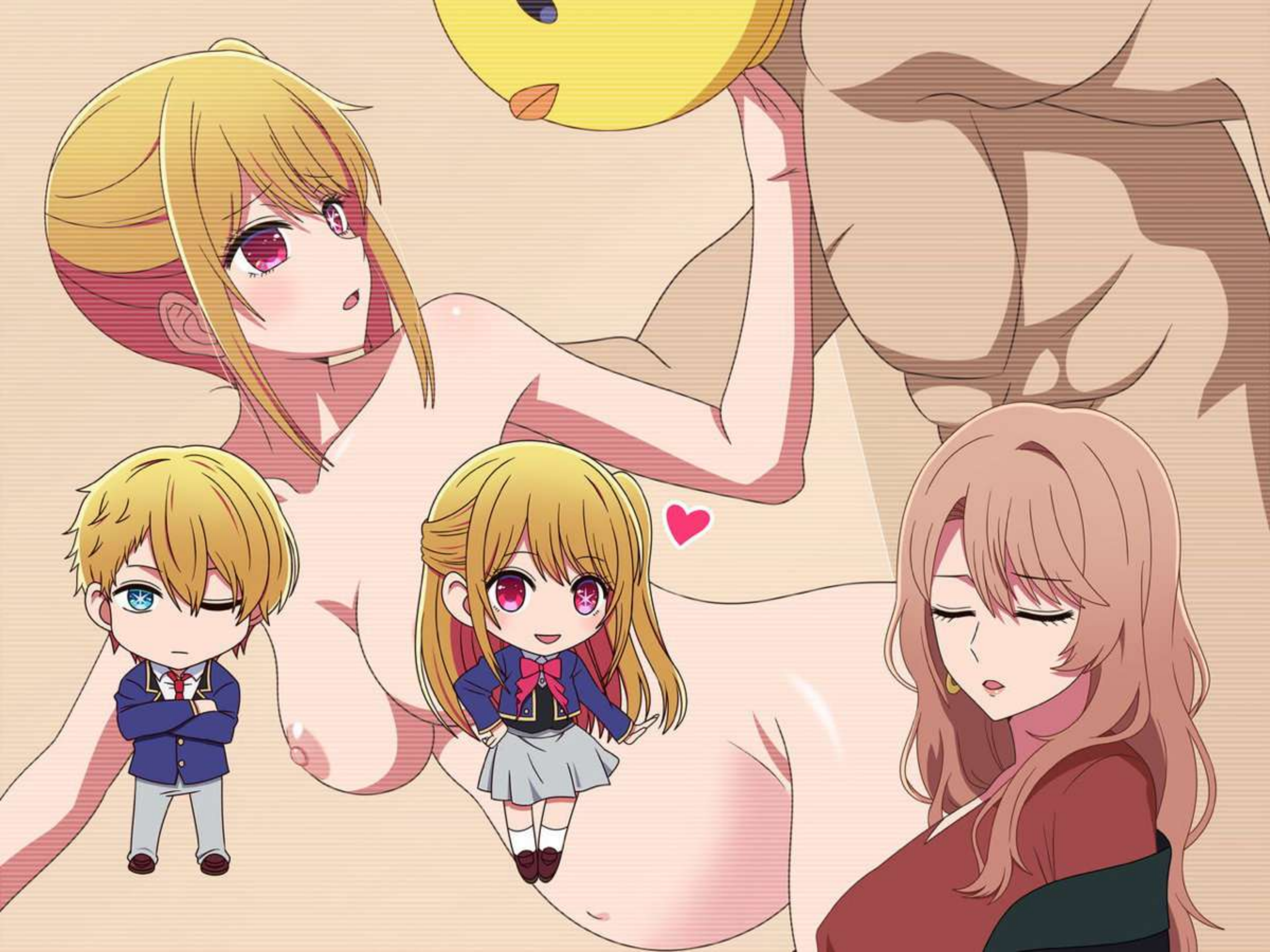


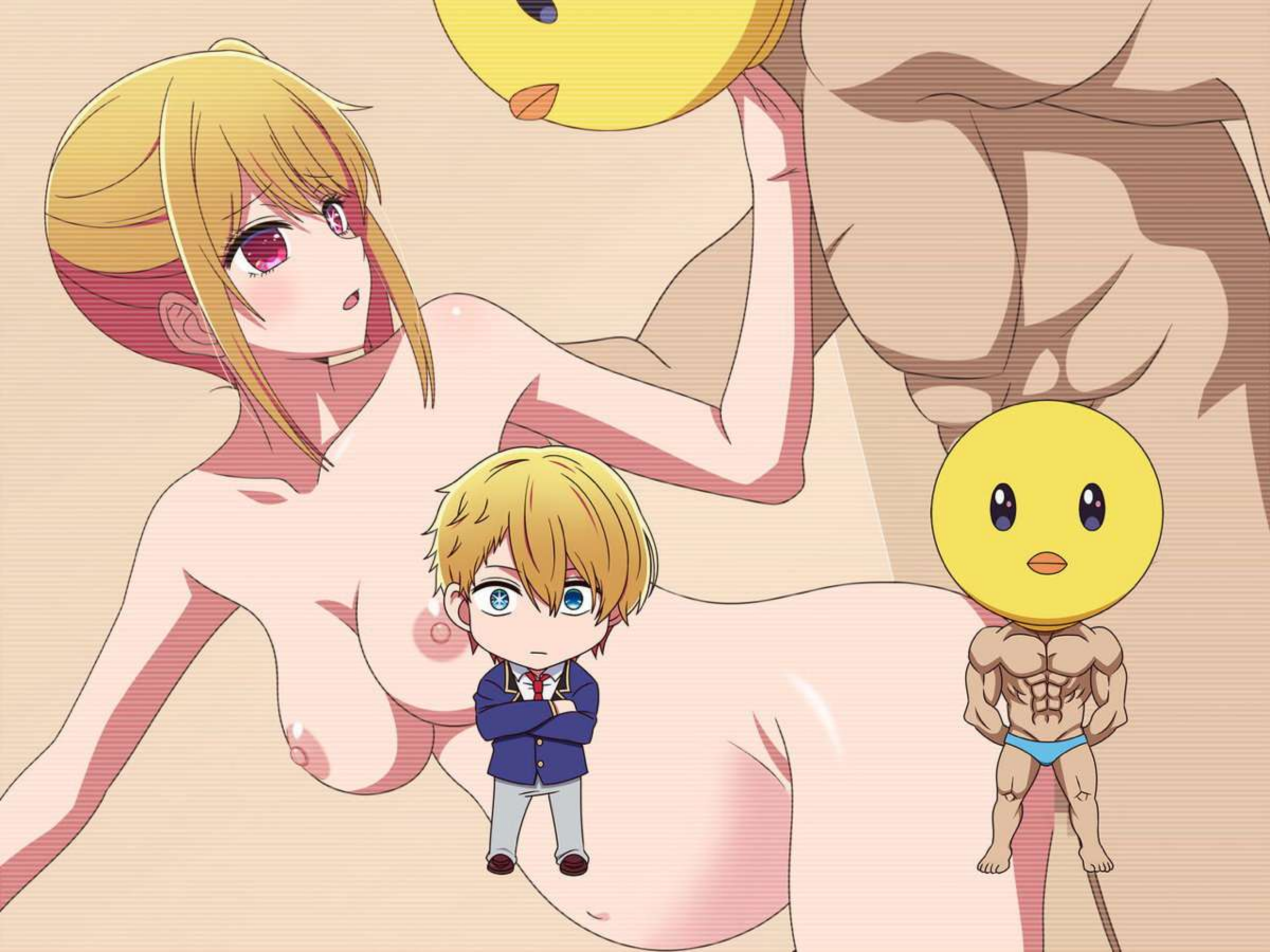
















AI  
MUGEN KOUKYU  
EIEN OSHI !!!